

7. 信徒はどんな役割を担うの？

キリスト信者が、ゆだねられた使命を果たす場は、基本的にそれぞれが生き働く場です。信徒は、社会のさまざまな場に派遣されて生活し、働いていますから、そのような場でキリストの望みを現し実現していく役割を担います。

信徒は、教会共同体の一員として教会のために奉仕しなければなりません。主な奉仕の場は家庭であり、また地域社会、職場、学校など日々の生活の場です。そのような場では、信徒が働かなければほかにキリストの働きを担う人はいないからです。そういう場でこそ信徒は生き、その中でキリストのように考え、キリストのように行動するよう招かれています。信徒は、キリストの生き方を社会の隅々にまで及んで示すことが可能であり、そういう点で、「地の塩、世の光である」(マタイ 5:13~14)という言葉は、信徒にこそもっとも当てはまる言葉といえるのです。

ですから、キリストによってゆだねられた救いの業を果たすために信徒が働くことは、ただ好ましいというだけでなく、不可欠で緊急に求められていることなのです。

◇分かち合いのフォーラム

*あなたが日常関わっている身近な場の出来事で、最近すぐよくなったと感じたこと、反対にいやだと感じたことは何ですか？

その出来事に対して、あなたはどのように関わっていますか？

*最近の社会の出来事の中で、すぐよくなったと感じたこと、反対にいやだと感じたことが何かありましたか？

その出来事に対して、あなたはどのように関わっていますか？

その出来事に対して、あなたはどのように関わっていきると考えますか？

